

『令和元年度石巻市学校防災フォーラム～学校と地域、行政が連携して取り組む防災教育の推進と地域防災体制の充実～』を開催しました(2019/8/6)

テーマ：石巻市、学校防災、復興・防災マップ、地域防災連絡会
場所：石巻市遊学館

2019年8月6日、主催：石巻市教育委員会、共催：石巻市学校防災推進会議、後援：東北大学災害科学国際研究所により、石巻市遊学館において「令和元年度石巻市学校防災フォーラム」が開催されました。フォーラムには、防災教育・学校安全に関わる教育関係者、実践者、研究者等、約100名が参加しました。

フォーラムでは、石巻市教育委員会の境直彦教育長の挨拶に続き、平成30年度に復興・防災マップづくりの学習プログラムに取り組んだ石巻市立前谷地小学校、北村小学校、河南西中学校の3校による実践報告が行われました。復興・防災マップづくりの学習プログラムは、災害科学国際研究所防災教育国際協働センターが石巻市教育委員会と協働で取り組んでいるものです。その後、「学校と地域、行政の連携による学校区の災害リスクの理解」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。パネリストは、長倉利一氏（石巻市立広瀨小防災連絡会・会長）、伊藤雄氏（石巻市立住吉中学校・校長）、浜野 淳氏（石巻市総務部・危機管理監）、そして村山良之氏（山形大学大学院教育実践研究科・教授）の4名であり、桜井愛子氏（東洋英和女学院大学・准教授）がコーディネータとなりました。石巻市内エリアの水害ハザードマップと地形条件との関係性が確認された後、石巻市における緊急避難場所の指定状況と課題、その解決に向けた方向性等について議論が展開されました。

続いて、鷲山龍太郎氏（元横浜市立学校・校長）から「学校経営戦略としての地域連携と防災～災害を克服できる学校を拠点としたコミュニティの創出～」と題する講演が行われ、そのファシリテーターを情報管理・社会連携部門の佐藤 健教授が担当しました。防災推進において、地域連携の前に学校内連携が必要であることや、「ファシリテーション」の理念と手法を使った職員参画型チーム学校とする具体的な推進方策等について多くの示唆を得ることができました。

最後に、石巻市教育委員会学校安全推進課の佐藤勝治課長による総括と閉会挨拶が行われ学校防災上の課題を学校・地域・行政が共有し、連携して解決に向けて取り組むことの重要性を参加者で共有することになりました。



境直彦教育長の挨拶



北村小学校による発表



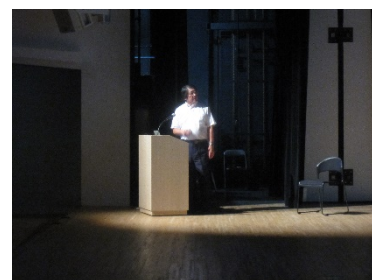
河南西学校による発表



復興・防災マップに展示



パネルディスカッション



鷲山龍太郎氏による講演